

# 【 第8回 男子ユース世界選手権 】

2019年8月6日～8月18日 開催地:北マケドニア

## 試合結果報告 8 月 12 日 ( 月 )

JAPAN	vs	北マケドニア
15	1st	11
16	2nd	11
	ex	
	ex	
31	TOTAL	22

### 個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	石濱 壘	0	0			0
2	佐藤 陽太	0	0			0
4	可児 大輝	1	3			4
6	窪田 礼央	0	1			1
7	安平 光佑	4	0			4
8	清水 裕翔	1	2			3
9	吉田 守一	3	1			4
11	藤川 翔大	1	2			3
12	矢村 裕斗	0	0			0
14	山口 直輝	3	1			4
16	高木 アレキサンダー	0	0			0
17	朝野 翔一郎	0	0			0
20	石田 知輝	0	0			0
23	治田 大成	1	4			5
24	榎本 悠雅	1	0			1
25	蔦谷 大雅	0	2			2
<b>TOTAL</b>		<b>15</b>	<b>16</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>31</b>

### 戦況

開始早々にキャプテン藤川のカットインで7mTを奪い、これを安平がきっちり決めて先制点を奪うと、山口の速攻、吉田のポスト、藤川の速攻と続いて開始4分までに4連取。守っては、高い位置でプレッシャーをかけて正面でアタックする一方、フォローDFも素晴らしく、相手にシュートまで持ち込ませずにOFミスを誘った。5分過ぎには左腕・治田のサイドも決まり、たまたま北マケドニアベンチがタイムアウトを要請する。

10分過ぎには、退場の間に2点を失うが、それでも清水、山口の連続速攻で主導権をがっちりとキープ。21分過ぎ12-6、26分には15-9と快調に飛ばした。

このまま先行を続けたい日本だったが、北マケドニアにも開催国の意地を見せ、追いつける。しかし、GK石濱がノーマークをファインセーブ、15-11で前半を終了する。

後半に入っても、可児のカットイン、吉田のポストで連取、守ってはGK石濱の堅守もあり、絶好の立ち上がりを見せる。

その後も左腕エース蔦谷の豪快なロングでさらにリードを広げる。しかし、司令塔の安平にマンツーマンでマークされると、攻撃のリズムに微妙なズレが出た。それでも、藤川のカットイン、可児の速攻、GK高木の好セーブもあり、後半17分には23-16とこの試合最大の7点のリードを奪う。

日本は終盤に入っても攻撃の手を緩めず、朝野のポスト、清水の連打、窪田のステップなどで加点し、31-22でタイムアップ、勝利の雄叫びをあげた。

MOMIは縦横無尽のゲームメイクで攻撃陣をリードした安平が選出された。

報告記入者 :

**吉田耕平**